

あべともこニュース



史上最大規模の経済対策で何を実現するのか

◆56兆円財政支出は誰のためか
岸田政権は補正予算31・9兆円を含む56・7兆円の追加経済対策を19日に閣議決定しました。

21年度予算の税込「57兆円」と比べれば、支出規模の巨大さが分かります。

自身は岸田政権が創設した「新しい資本主義実現会議」の決定事項や、前政権から引き継いだ会議体で決定したことへの予算付けとその積み増しです。

■コロナ対策(31・3兆円)

■新しい資本主義(19・8兆円)

■国土強靱化(4・6兆円)

危機的と言われる温暖化対策やグリーンニューディール等、新たな産業育成に役立つ内容とは思われません。

さらに、緊急に必要なのは、生計の厳しい世帯の生活水準引き上げです。

◆第6波への備えは十分か

日本では、現在、新型コロナウイルス感染抑制が維持されている一方、ワクチン接種が日本より先行した欧米諸国では感染が再拡大しています。

第6波への備えが不可欠ですが、岸田政権はワクチン・検査パッケージとGOTOキャンペーン等を組み合わせた経済活動の再開に重きを置いています。

しかし、無症状者への計画的検査を含め、公衆衛生的アプローチは未整備です。

そんな中、神奈川県は22日に、水中の新型コロナウイルスの量を調査し、感染を予測する研究を行う県立保健福祉大学と支援協定を結んだと発表。早期の感染拡大防止が期待されます。

治療薬の開発など朗報もあります。が、感染流行を迅速に察知し、迅速な抑制する策の備えが重要です。

◆地域でも温暖化対策への取組みを!

日本は「2050年カーボンニュートラル」を国際公約しましたが、原発に依存せず、再エネ100%でそれを達成するため、足元からエネルギー政策を変える取組みが不可欠です。

藤沢市では今年2月の「気候非常事態宣言」で、2050年までにCO2排出実質ゼロを謳いました。

その実現に向けては、小中学校や病院を含め全公共施設の屋根に太陽光を導入して各施設の電力自給率の向上を図ることや、断熱性能の高い住宅やビル建設の推進策が欠かせません。公共交通機関の充実やマイクромобリティ推進等、生活・産業における移動で生じるCO2削減策も必要です。

地域分散型エネルギーへの転換と省エネを実現するために、まず、地域で実績を作る! 環境にも人間の健康にも優しい職場や暮らし作りが温暖化対策の第一歩だと信じます。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区(藤沢市・寒川町) 当選8回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、内閣委員会・原子力問題調査特別委員会委員



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ 検索

あべともこと共に歩む会後援会 入会のご案内及びボランティア スタッフ募集中!



立民代表戦の西村ちなみ候補(左)の選対本部長となり、熱烈応援演説中(11月25日、横浜にて)